



退任 あいさつ

前教育長 松野尾 道雄

6月30日の任期満了をもちまして2期6年間の教育長を退任いたしました。この6年間を含めて下川町職員35年3か月の長きにわたり多くの皆様に多大なご支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

昨年来世界中のパンデミック・新型コロナウイルス感染症に襲われ、学校においては、経験のない長期の臨時休業、分散登校、学校行事の縮小・中止、またスポーツや文化活動の発表や競い合う機会が失われ、爽快感や達成感を感じる事ができなかつたことは非常に残念なことでした。

川島新教育長のもと「安心・安全な教育環境」を守り改善していくために最大限の努力をしてくれるもの

と信じています。

下川町職員35年間を振り返ってみますとあけぼの園等の高齢者福祉施設や保健福祉課の勤務が長く、多くのことを学ばせていただきながら楽しく有意義な時を過ごさせていただきました。今でもその当時のご高齢の方を夢に見ることがあります。また、地域の多くのイベントに関わらせていただき町内外の多くの人と笑顔で楽しむことができました。

今後の下川町がSDGs未来都市として、「持続可能な住みやすい幸せの町」として発展していくことと、地域の皆様が益々ご壮健でありますことをご祈念申し上げ退任の挨拶いたします。



就任 あいさつ

教育長 川島 政吉

7月1日付けで教育長を拝命いたしました。歴代の諸先輩方の功績から、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

今日、人工知能やビッグデータ等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方そのものが劇的に変わる複雑で予測困難な時代になりつつあります。また、昨年来、新型コロナウイルス感染症により一層先行き不透明となる中、私たち一人ひとり、そして社会全体が、答えのない問いにどう立ち向かうのかが問われているように感じています。

目の前で起こる様々な事象から解決すべき課題を見いだし、自分事として考えていくことで自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる

他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働的に考えを交流していくことで課題を解決していく経験を積み重ねていく必要があります。そのためには、子供たちだけでなく、大人も生涯楽しめる機会を数多く設け、そのような関わりを生きがいに繋げていくことが大切であります。

これらを実現していくために、私自身、今後も勉強を重ね、微力を積み上げ関係者の皆様と連携を図っていく所存であります。議会並びに町民の皆様方のご指導とご理解をいただくとともに、職員との協力をいただきながら誠意、職務遂行に邁進してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。